

平成 16年 3月期 中間決算短信(連結)

平成 15年 11月 月日

親会社名
米国会計基準採用有無

コード番号:)

親会社

無

1. 15年 9月中間期の連結業績 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)
(1)連結経営成績

	15年 9月中間期		14年 9月中間期		15年 3月期		14年 3月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	369,214	5.0	9,512	6.5	9,707	6.6	388,459	5.5
営業利益	388,459	5.5	10,172	34.5	9,109	24.0	732,368	5.5
経常利益	732,368		15,769		14,602			
純利益								
期末発行済株式数 (連結)	296,440,589 株							
会計処理の方法の変更	無							
売上高、営業利益、経常利益、純利益	中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率							
	百万円	%	円	銭	円	銭	(百万円未満切り捨て)	
15年 9月中間期	386	42.2	19.20		-			
14年 9月中間期	3,999	299.2	13.49		12.88			
15年 3月期	4,050		13.56		-			
(注) 持分法投資損益	15年 9月中間期		47 百万円		14年 9月中間期	52 百万円	15年 3月期	129 129

	15年 9月中間期		14年 9月中間期		15年 3月期		14年 3月期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
営業利益	380,311		88,734	23.3	299.62		382,786	21.8
経常利益	382,786		83,502	21.8	281.60		363,353	22.6
純利益	363,353		82,241	22.6	277.55			
(注) 期末発行済株式数 (連結)	15年 9月中間期 296,160,686 株		14年 9月中間期 296,531,658 株		15年 3月期 296,205,724 株			

(3)連結キャッシュ・フローの状況

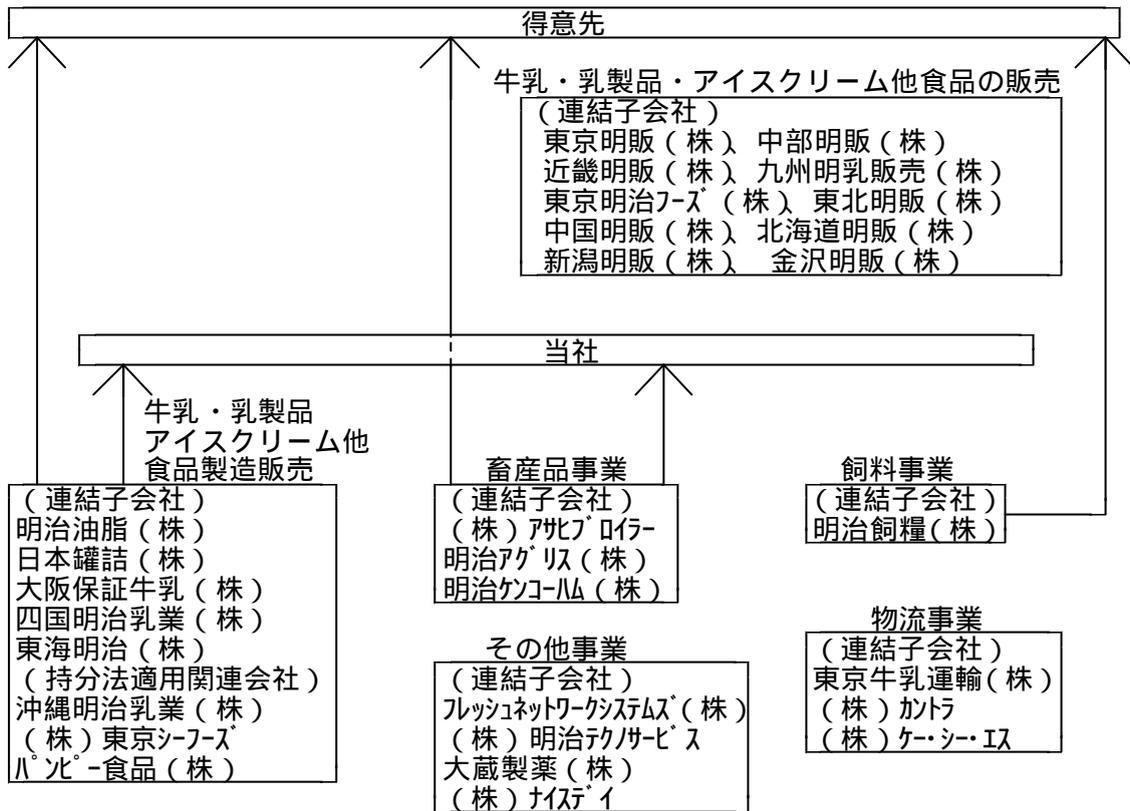
(百万円未満切り捨て)

	15年 9月中間期		14年 9月中間期		15年 3月期		14年 3月期	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,249	6,789	4,053	9,271				

【企業集団の状況】

当社グループは、当社、子会社60社及び関連会社14社で構成され、『「食」の新しい価値を創造し、お客様の健康で幸せな毎日に貢献する。』を基本理念とし、牛乳・乳製品等を原料とする食品の製造販売を行う会社を核として構成されております。更に、これに関連する畜産品事業、飼料事業、輸送及びその他サービス等の

企業集団の状況



【経営成績及び財政状態】

1. 経営成績

(1) 当中間期の概況

当上半期のわが国経済は、株価の上昇や、設備投資の増加等、景気持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、デフレ状況が続く中、雇用や所得は厳しい環境にあり、依然として個人消費は低調に推移いたしました。

食品業界におきましては、記録的な冷夏といった天候不順の影響により、飲料、アイスクリーム等の商品が低迷しました。また、乳業界におきましては、企業再編等により、市場競争は激化いたしました。

このような状況下、当社におきましては、ヨーグルト・プロバイオティクス事業などのコア事業への経営資源の集中、独自の技術力に基づく商品開発力の強化、少数精鋭による運営体制の確立を目指した経営の効率化、信頼される「MEIJI」ブランドの確立等に注力してまいりました。

経営成果としましては、冷夏の影響及び市場競争激化等により、売上高は前年同期比5%減の3,692億1,400万円となりました。営業利益は売上高の減少等により前年同期比6.5%減の95億1,200万円となりましたが、経常利益につきましては、営業外収支の改善があったことにより、前年同期比6.6%増の97億700万円となりました。尚、当中間期におきまして固定資産売却益34億6,100万円を特別利益に計上しました。以上の結果、中間純利益は前年同期比42.2%増の56億8,600万円となりました。

セグメント別の業績の状況は次の通りであります。

(単位：百万円、%)

	食 品			サービス・その他			計		
	当中間期	前中間期	増減	当中間期	前中間期	増減	当中間期	前中間期	増減
売上高	323,566	343,039	19,473	69,108	67,366	1,742	392,675	410,405	17,730
営業利益	8,207	8,480	273	1,849	1,646	203	10,056	10,127	71

(注：消去前の金額を記載)

【食品事業】

売上高は、明治乳業単体において、冷夏の影響、及び市場競争の激化等により前年同期実績を下回ったこと、などにより前年同期実績を下回りました。営業利益についても売上高の減少などにより、前年同期実績を下回りました。

【サービス・その他事業】

売上高は、運送・倉庫事業等の伸びにより前年同期実績を上回りました。営業利益については、飼料事業において原価低減が図れたこと、などにより前年同期実績を上回りました。

(2) 明治乳業単体の概況

市乳部門

市乳部門は、「明治おいしい牛乳」、「明治プロビオヨーグルトLG21」といった主力商品の拡販に注力し、これら商品は好調に推移しました。その一方で、不採算商品の見直しに努めたことや、天候不順の影響等もあり、同部門は前年同期比約4.6%減の1,485億4,500万円となりました。

乳製品部門

乳製品部門におきましては、バターは前年同期実績を上回りましたが、チーズ、育児用コナミルクは、市場競争の激化や出生率の減少等の影響により、前年同期実績を下回り、同部門は前年同期比約7.6%減の371億8,200万円となりました。

アイスクリーム部門

アイスクリーム部門は、市場の低迷や冷夏といった環境下において、不採算商品の見直しに努めたことにより、前年同期比約14.7%減の238億1,300万円となりました。

飲料部門

飲料部門は、天候不順、市場競争の激化等により、前年同期比約13.1%減の178億1,000万円となりました。

その他部門

その他部門におきましては、冷凍食品、マーガリン、栄養食品が前年同期実績を下回ったこと等により、前年同期比約11.6%減の321億1,900万円となりました。

以上により、売上高は、前年同期比7.5%減の2,594億7,000万円、営業利益は、前年同期比16.0%減の67億2,900万円、経常利益は前年同期比1.8%減の70億5,000万円となりました。なお、当中間期におきまして、固定資産売却益34億5,000万円を特別利益に計上いたしました。以上の結果、中間純利益は、前年同期比27.5%増の41億4,200万円となりました。

(3) 今期の見通し

当下半年も、個人消費の低迷や、市場競争の激化等当社を取り巻く事業環境は厳しさを増すものと予想されますが、独自の技術力、商品力を活かして世界の食品トップ企業と互角に競争できる食品企業グループとなるべく、企業価値の向上に向けた諸施策を全社を挙げて推進していく所存であります。

当社では、「イノベーション先進企業への転換」を基本コンセプトとした中期経営計画（2003年～2005年）を策定し、コーポレートブランドの確立と高収益体質への転換を目指す所存であります。

具体的には、「明治ブルガリアヨーグルトLB81」、「明治プロビオヨーグルトLG21」を中心としたヨーグルト・プロバイオティクス事業、「明治おいしい牛乳」を柱とした独自の技術に基づいた牛乳事業、「ヴァーム」を中心とするニュートラシューティカル事業、高級アイスクリーム事業などのコア事業に経営資源を集中し、さらなる拡大を図ってまいります。

商品開発体制につきましては、研究基盤の強化を目的に平成15年4月に小田原市に統合いたしました新研究拠点研究基盤「新研儀イヨホミ」

尚、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記の通りです。

	平成14年3月期	平成15年3月期 (9月中間期)	平成15年3月期	平成16年3月期 (9月中間期)
株主資本比率(%)	21.1%	21.8%	22.6%	23.3%
時価ベースの 株主資本比率(%)	35.4%	29.3%	30.4%	31.4%
債務償還年数(年)	12.2	-	4.3	-
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	6.4	24.8	18.9	16.3

(注)株主資本比率 $\frac{\text{株主資本}}{\text{総資産}}$
 時価ベースの株主資本比率 $\frac{\text{株式時価総額}}{\text{総資産}}$
 債務償還年数 $\frac{\text{有利子負債}}{\text{営業キャッシュ・フロー}}$ (中間期は記載しておりません)
 インタレスト・カバレッジ・レシオ $\frac{\text{営業キャッシュ・フロー}}{\text{利払い}}$

*各指標は、いずれも連結ベースのベ シ 86鴻ノ瓜P

【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

資 産 の 部				
科目	期中間期 (H.15.9.30)	前中間期 (H.14.9.30)	増減	前期 (H.15.3.31)
流動資産	161,830	162,571	741	150,304
現金及び預金	9,293	7,021	2,272	4,892
受取手形及び売掛金	89,739	92,968	3,229	83,175
たな卸資産	45,520	46,417	897	46,005
繰延税金資産	4,586	3,182	1,404	4,572
その他の流動資産	13,992	14,916	923	12,743
貸倒引当金	1,302	1,933	631	1,084
固定資産	218,480	220,215	1,734	213,049
有形固定資産	181,631	184,745	3,113	178,966
建物	68,118	69,583	1,464	69,198
機械装置	54,323	58,032	3,709	54,177
土地	43,355	42,677	677	42,468
その他の有形固定資産	15,834	14,451	1,382	13,122
無形固定資産	2,218	2,334	116	2,201
投資有価証券	23,078	20,046	3,031	19,748
繰延税金資産	1,640	2,262	621	1,998
投資その他の資産	10,869	11,656	786	10,891
貸倒引当金	958	829	128	757
資産合計	380,311	382,786	2,475	363,353

(単位：百万円)

科目	負債、少数株主持分及び資本の部				
	期別	当中間期 (H.15.9.30)	前中間期 (H.14.9.30)	増減	前期 (H.15.3.31)
負債		289,265	296,828	7,562	279,136
流動負債		180,953	192,146	11,192	168,852
支払手形及び買掛金		72,716	80,409	7,692	67,634
短期借入金		38,341	38,654	313	36,590
コマーシャルペーパー		12,000	18,000	6,000	12,000
未払法人税等		5,312	4,657	655	5,456
未払費用		30,725	32,413	1,688	28,534
その他の流動負債		21,857	18,010	3,846	18,636
固定負債		108,312	104,682	3,630	110,283
社債		35,600	35,600	-	35,600
長期借入金		61,737	59,916	1,820	66,126
繰延税金負債		1,499	900	599	381
退職給付引当金		8,045	7,425	620	7,092
その他の固定負債		1,429	839	590	1,083
少数株主持分		2,311	2,455	144	1,975
資本		88,734	83,502	5,231	82,241
資本金		23,090	23,090	-	23,090
資本剰余金		21,421	21,421	-	21,421
利益剰余金		41,229	37,265	3,964	36,754
その他有価証券評価差額金		3,171	1,765	1,405	1,134
自己株式		178	39	138	158
負債、少数株主持分及び資本合計		380,311	382,786	2,475	363,353

a%MF] a%wuCu ta%

【中間連結損益計算書】

(単位：百万円、%)

期別	当中間期 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前中間期 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	増減	増減率	前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31)
売上高	369,214	388,459	19,244	5.0	732,368
売上原価	265,086	278,657	13,570	4.9	528,996
販売費及び一般管理費	94,615	99,630	5,014	5.0	187,602
営業利益	9,512	10,172	660	6.5	15,769
営業外収益	1,736	1,226	509	41.5	2,991
受取利息及び配当金	297	242	55	22.5	547
たな卸資産売却益	262	227	35	15.6	419
雑収入	1,176	757	419	55.4	2,024
営業外費用	1,541	2,289	748	32.7	4,158
支払利息	807	1,124	316	28.2	1,926
たな卸資産処分損	381	691	310	24.4	450

【中間連結剰余金計算書】

(単位：百万円)

科目	期中 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前期中 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31)
(資本剰余金の部)			
・資本剰余金期首残高	21,421	21,421	21,421
・資本剰余金中間期末(期末)残高	21,421	21,421	21,421
(利益剰余金の部)			
・利益剰余金期首残高	36,754	34,176	34,176
・利益剰余金増加高	6,106	4,047	4,525
1. 中間(当期)純利益	5,686	3,999	4,050
2. 合併による剰余金増加高	380	48	474
3. 連結子会社の決算日変更による剰余金増加高	39	-	-
・利益剰余金減少高	1,631	959	1,947
1. 配当金	888	889	1,779
2. 役員賞与 (うち監査役賞与)	30 (3)	31 (3)	31 (3)
3. 連結子会社の決算日変更による剰余金減少高	-	38	24
4. 合併による剰余金減少高	-	-	112
5. 連結子会社の株式移転に伴う持分変動による剰余金減少高	713	-	-
・利益剰余金中間期末(期末)残高	41,229	37,265	36,754

平成15年5月20日付けで発表いたしました連結剰余金計算書において、
 利益剰余金増加高 4,539(百万円)を4,525(百万円)、
 利益剰余金減少高 1,961(百万円)を1,947(百万円)へ訂正しております。

【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

科目	期別	(単位;百万円)		
		当中間期 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前中間期 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	増減 前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31前期)

【中間連結財務諸表作成の基本となる事項】

1. 連結の範囲に関する事項

中間連結財務諸表に含まれた連結子会社は次の26社であります。

北海道明販株式会社 東北明販株式会社 東京明販株式会社 新潟明販株式会社
金沢明販株式会社 中部明販株式会社 近畿明販株式会社 中国明販株式会社
四国明治乳業株式会社 九州明乳販売株式会社 東京明治フーズ株式会社
明治飼糧株式会社 日本罐詰株式会社 明治油脂株式会社 大阪保証牛乳株式会社
株式会社アサヒプロイラー 明治ケンコーハム株式会社 明治アグリス株式会社
東海明治株式会社 大蔵製薬株式会社
フレッシュネットワークシステムズ株式会社
東京牛乳運輸株式会社 株式会社カントラ 株式会社ケー・シー・エス
株式会社明治テクノサービス 株式会社ナイスデイ

その他の子会社 太田18% 株式会社 縞 楳

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

会計基準変更時差異(17,320百万円)につきましては、15年による按分額を費用処理しております。

数理計算上の差異につきましては、主としてその発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として14年)による按分額を翌連結会計年度より費用処理することとしております。

過去勤務債務(債務の減額)につきましては、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(7年)による按分額を費用処理しております。

(4) 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) その他中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額	212,914 百万円	(前中間期	212,984 百万円)	
		(前期	210,872 百万円)	
2. 偶発債務	保証債務	449 百万円	(前中間期	1,681 百万円)
		(前期	495 百万円)	
3. 受取手形裏書譲渡高		- 百万円	(前中間期	- 百万円)
		(前期	- 百万円)	

【リース取引】

証券欄第 条

【セグメント情報】

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

	当中間期 (H.15.4.1~H.15.9.30)				
	食品	サービス その他	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	322,466	46,748	369,214	-	369,214
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,100	22,359	23,460	(23,460)	-
計	323,566	69,108	392,675	(23,460)	369,214
営業費用	315,359	67,259	382,618	(22,915)	359,702
営業利益	8,207	1,849	10,056	(544)	9,512

(単位：百万円)

	前中間期 (H.14.4.1~H.14.9.30)				
	食品	サービス その他	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	340,108	48,351	388,459	-	388,459
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,931	19,014	21,945	(21,945)	-
計	343,039	67,366	410,405	(21,945)	388,459
営業費用	334,559	65,719	400,278	(21,991)	378,287
営業利益	8,480	1,646	10,127	45	10,172

(単位：百万円)

	前期 (H.14.4.1~H.15.3.31)				
	食品	サービス その他	計	消去 又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	638,414	93,953	732,368	-	732,368
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,962	38,941	40,903	(40,903)	-
計	640,377	132,894	773,272	(40,903)	732,368
営業費用	627,226	130,473	757,699	(41,100)	716,599
営業利益	13,151	2,421	15,572	196	15,769
・資産、減価償却費及び資本的支出					
資産	284,706	90,028	374,734	(11,381)	363,353
減価償却費	16,491	4,874	21,365	-	21,365
資本的支出	16,716	6,074	22,790	-	22,790

(注) 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

F % リ S ~ 資 産 F P 知 F b] 。 区 類 資 産 F S u l r R i S s 等 2 リ u
34 <97D087D5.25 31.5 0 TC4.25 I S -3E5 0 TD 82D9> F0> Tj 1F I S 0 Tc5 .5 I S45 リ-(Ou j ° Y

【有価証券】

[当中間期（H.15.9.30）]

その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区 分

【デリバティブ取引】

証券取引法第27条の30の6の規定に基づき電子開示手続きを行っておりますので、記載を省略しております。

【関連当事者との取引】

該当事項はありません。

【生産・受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

(単位：百万円、%)

事業の業種別セグメントの名称	当中間期 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前中間期 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	増減率	前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31)
食品事業	229,136	230,464	1.6	434,129
サービス・その他事業	19,074	18,236	4.6	36,355
合計	248,211	248,700	0.2	470,485

- (注) 1. 「食品事業セグメント」は、市乳、乳製品、冷凍食品、マーガリン類等
であります。
2. 「サービス・その他事業セグメント」は飼料等であります。
3. 上記金額は、消費税等抜きの販売価額により表示しております。
4. セグメント間の取引は含まれておりません。

(2) 受注実績

当中間期における受注状況については、受注高が極めて少額であるため、開示を省略しております。
尚、提出会社については、現在受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円、%)

事業の業種別セグメントの名称	当中間期 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前中間期 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	増減率	前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31)
食品事業	322,466	340,108	5.2	638,414
サービス・その他事業	46,748	48,351	3.3	93,953
合計	369,214	388,459	5.0	732,368

- (注) 1. 「食品事業セグメント」は、市乳、乳製品、冷凍食品、マーガリン類等
であります。
2. 「サービス・その他事業セグメント」は飼料等であります。
3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
4. 総販売実績に対する売上の割合が10%以上の相手先はありません。
5. セグメント間の取引は含まれておりません。

平成 16年 3月期 個別中間財務諸表の概要

平成 15年 11月 18日

上 場 会 社 明治乳業株式会社
 コード番号 2261
 (URL:http://www.meinyu.co.jp/)

上場取引所 東 名
 本社所在都道府県
 東京都

代表者役職名 代表取締役社長
 氏 名 浅野 茂太郎
 問合せ先 責任者役職名 取締役広報室長
 氏 名 織田 邦利

TEL (03) 5653 - 0300

中間決算取締役会開催日 平成 15年 11月 18日
 中間配当支払開始日 平成 15年 12月 10日

中間配当制度の有無 有
 単元株制度採用の有無 有(1 単元 1,000 株)

1. 15年 9月中間期の業績 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)

(1)経営成績 (百万円未満切り捨て)

	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年 9月中間期	259,470	7.5	6,729	16.0	7,050	1.8
14年 9月中間期	280,607	5.3	8,011	29.4	7,176	13.4
15年 3月期	518,843		12,340		11,481	

	百万円	%	円	銭
15年 9月中間期	4,142	27.5	13.99	
14年 9月中間期	3,249	193.0	10.96	
15年 3月期	4,008		13.42	

(注) 期中平均株式数 15年 9月中間期 296,180,911 株 14年 9月中間期 296,577,813 株 15年 3月期 296,440,589 株
 会計処理の方法の変更 無
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金	(注) 15年 9月中間期中間配当金内訳
	円 銭	円 銭	記念配当 円 銭 特別配当 円 銭
15年 9月中間期	3.00	-	
14年 9月中間期	3.00	-	
15年 3月期	-	6.00	

(3)財政状態

(百万円未満切り捨て)

	株主資本比率 1株当たり	株主資本
	百万円	百万円 % 円 銭
15年 9月中間期	285,792	60 Tw (3)0 TD 0.TFA> Tj 62.04 -0.7 (3)0 TD (9)AATj 19.72 -12

【比較貸借対照表】

(単位：百万円)

資産の部				
科目	期別 当中 間期 (H.15.9.30)	前中間期 (H.14.9.30)	増減	前期 (H.15.3.31)
流動資産	120,839	124,142	3,303	113,308
現金及び預金	5,611	3,376	2,235	2,018
受取手形	3,277	4,847	1,569	3,446
売掛金	66,349	70,051	3,702	60,280
たな卸資産	36,501	37,351	850	38,728
その他の流動資産	10,161	9,296	864	9,566
貸倒引当金	1,061	780	281	731
固定資産	164,952	165,958	1,005	162,377
有形固定資産	120,049	124,014	3,965	120,835
建物	44,035	44,398	363	45,064
機械装置	44,228	46,504	2,276	43,976
土地	20,673	21,002	329	20,674
その他の有形固定資産	11,111	12,108	996	11,119
無形固定資産	579	699	119	634
投資その他の資産	45,105	41,817	3,288	41,433
貸倒引当金	781	572	208	525
資産合計	285,792	290,100	4,308	275,685

【比較損益計算書】

(単位：百万円、%)

科目	期中 期別 (H.15.4.1~ H.15.9.30)	前期中 期別 (H.14.4.1~ H.14.9.30)	増減	増減率	前期 (H.14.4.1~ H.15.3.31)
売上高	259,470	280,607	21,137	7.5	518,843
売上原価	181,288	196,147	14,859	7.6	365,266
販売費及び一般管理費	71,452	76,448	4,996	6.5	141,236
営業利益	6,729	8,011	1,282	16.0	12,340
営業外収益	1,579	1,184	394	33.3	2,724
受取利息及び配当金	352	246	106	43.0	551
雑収入	1,226	938	287	30.7	2,173
営業外費用	1,257	2,019	761	37.7	3,583
支払利息	648	929	280	30.2	1,573
雑損	609	1,090	480	44.1	2,009
経常利益	7,050	7,176	126	1.8	11,481
特別利益	3,483	276	3,207	-	1,770
固定資産売却益	3,450	13	3,437	-	1,440
その他の特別利益	33	263	229	87.3	330
特別損失	2,437	1,053	1,383	131.3	4,604
固定資産処分損	372	221	151	68.1	822
有価証券評価損	158	211	52	24.9	2,552
関係会社株式評価損	-	314	314	-	367
その他の特別損失	1,906	306	1,600	522.5	862
税引前中間(当期)純利益	8,096	6,399	1,696	26.5	8,647
法人税、住民税及び事業税	3,953	3,149	804	25.5	5,965
法人税等調整額	-	-	-	-	1,326
中間(当期)純利益	4,142	3,249	892	27.5	4,008
前期繰越利益	2,985	2,664	321	12.1	2,664
中間(当期)未処分利益	7,128	5,914	1,214	20.5	6,673

【売上高比較表】

「

(単位：百万円、%)

2003年11月18日

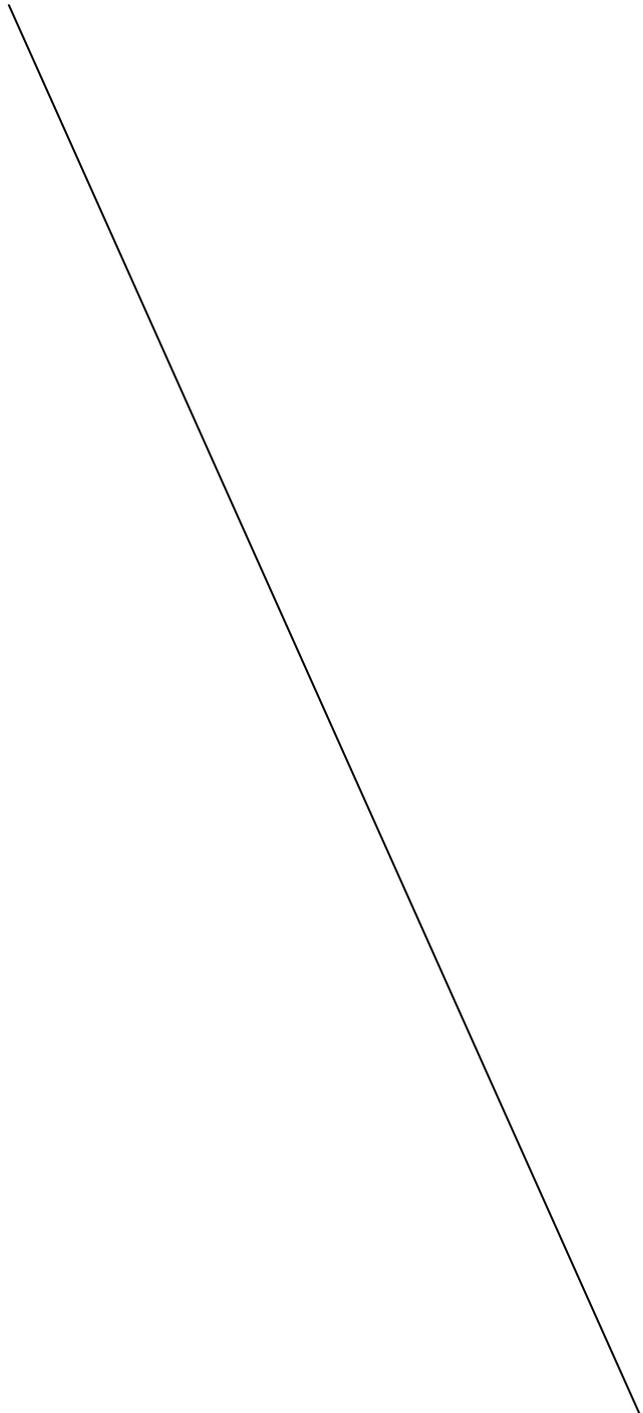
各位

明治乳業株式会社

明治乳業株式会社 平成16年3月期中間決算参考資料

1. 平成16年3月期中間決算販売実績

「



3 . 従業員数

平成10年3月末	5,547名
平成10年9月末	5,723名
平成11年3月末	5,522名
平成11年9月末	5,618名
平成12年3月末	5,423名
平成12年9月末	5,408名
平成13年3月末	5,200名
平成13年9月末	5,329名
平成14年3月末	5,106名
平成14年9月末	5,190名
平成15年3月末	4,949名
平成15年9月末	4,970名

4 . 売上高原価率、売上高販管費比率、金融収支

	売上高原価率	売上高販管費比率	金融収支
平成14年度上期	69.9%	27.2%	682百万円
平成15年度上期	69.9%	27.5%	295百万円

5 . 営業利益の見通し

平成15年度見通し	115 億円
-----------	--------

6 . 部門別売上予想 ? ね 啓ル タ